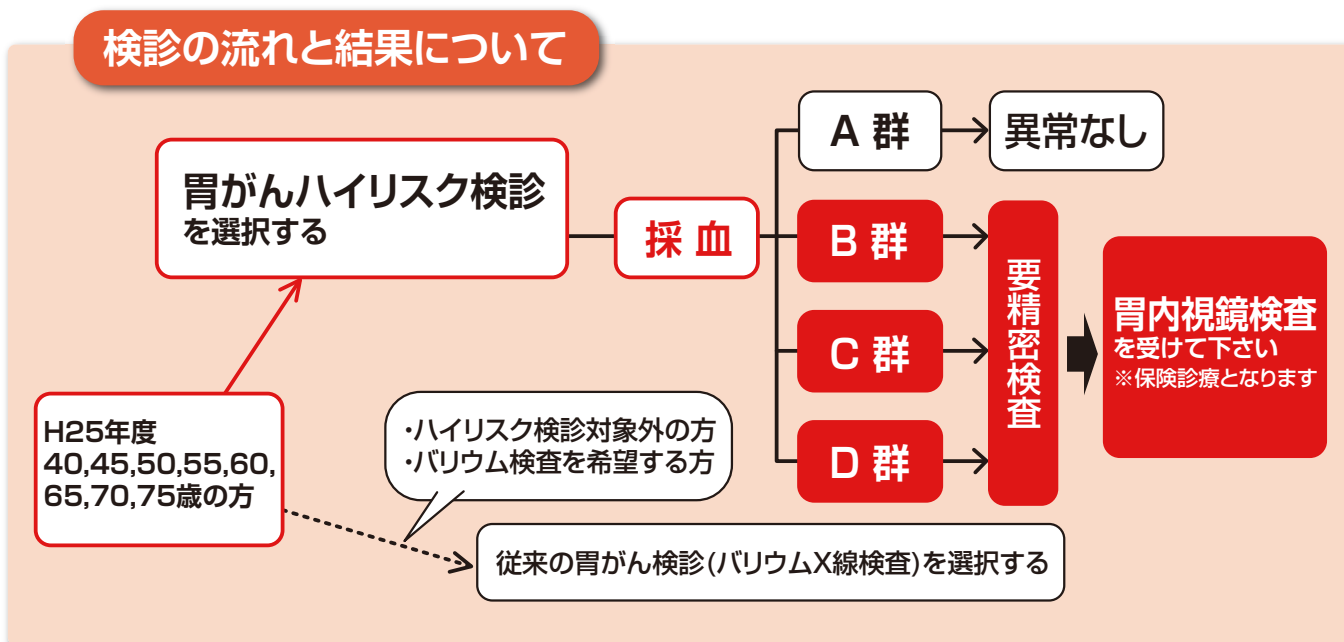
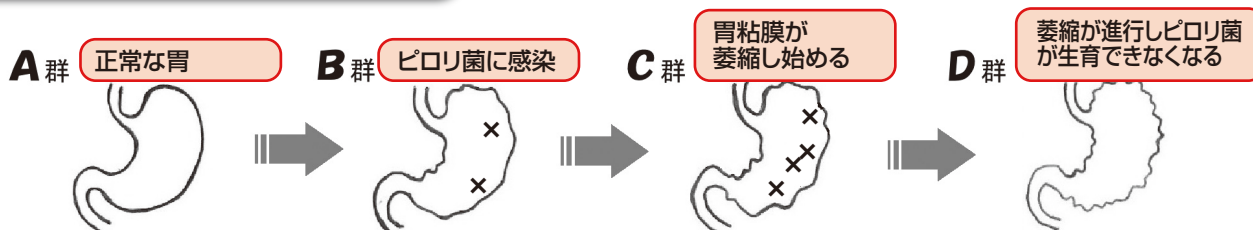


検診の流れと結果について



ピロリ菌に感染した胃の経過

※「X」印はピロリ菌



低い ⇒ 《胃がんリスク》 ⇒ 高い

総合判定	異常なし	要精密検査(=胃内視鏡検査)		
	A 群	B 群	C 群	D 群
ペプシノゲン検査(PG検査)	陰性(-)	陰性(-)	陽性(+)	陽性(+)
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査(HP検査)	陰性(-)	陽性(+)	陽性(+)	陰性(-)
胃の状態	健康的な胃粘膜です	少し弱った胃粘膜です	弱った胃粘膜です	かなり弱った胃粘膜です

- 精密検査の判定(B～D群)となった方は、**胃内視鏡検査**が必要になります。
 ※精密検査(胃内視鏡検査)については**保険診療**となります。
 ※治療が伴わないピロリ菌の除菌については、保険対象外となります。
- 同一年度内に「胃がんハイリスク検診」と「従来の胃がん検診(バリウム検査)」の両方を受けることはできません。どちらか一方を選択してください。
- 通常のバリウム検診を受診した場合と比べ、今後の経過観察方法がより具体的になります。
 詳しい方法につきましては、結果と共にお知らせします。

あくまでも将来、胃がんにかかりやすいかどうかのグループ分けです。必ずしも、現在がんになっている、必ずがんになるという事ではありませんのでご安心ください。
 胃がんの早期発見につなげるための検診です。

問い合わせ先

下野市健康福祉部健康増進課
 (下野市保健福祉センターきらら館内)
 ☎:0285-52-1116